

事務事業名	全国スボ少ホッケー交流大会派遣・参画事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	教育委員会		単位番号	12333								
			所属課室	生涯学習課		課長名	新津 岳								
			所属担当	社会体育		担当者名	名取 恵美								
基本政策	基本計画体系	V	個性と文化を育む都市づくり		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目			
		26	スポーツ・レクリエーションの振興			01	一般	1	0	0	5	0	1	0	3
政策			スポーツ・レクリエーションの振興		事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金									
施策		40	スポーツ・レクリエーション活動の推進												
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 15 年度） ☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）		法令根拠												
	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市小学生ホッケー交流大会の優勝男女各1チームが全国大会に出場する。				事業費の主な内訳（ 22年度 ）										
事務事業の概要					項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)				
					大会出場補助金		1,073								
									計		1,073				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	8月に福井県で開催される全国大会に男女各1チームが出場。
23年度活動予定	8月に富山県で開催される全国大会に男女各1チームが出場。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
小学生・ホッケー競技	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
大会を通じ全国の児童と交流し、全国レベルを体感しホッケー競技への意欲を増すとともに、技術の向上を図る。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
大会以降もホッケーに携わり、普及に貢献する。	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 出場チーム数	チーム
	イ	
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 大会参加児童数	人
	イ	
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア ホッケーを続けたいと答えた児童数	人
	イ	
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 中学校ホッケー部員	人
	イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	1,396	1,073	1,357	1,370	1,494	1,494	
	事業費計 (A)			千円	1,396	1,073	1,357	1,370	1,494	1,494	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3		
		延べ業務時間	時間	200	200	200	200	200	200		
		人件費計 (B)	千円	892	892	792	792	792	792	0	
		(A)+(B)			千円	2,288	1,965	2,149	2,162	2,286	2,286
活動指標		アイ	チーム	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
		ウ									
対象指標		アイ	人	21.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	
		ウ									
成果指標		アイ	人		16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	
		ウ									
上位成果指標		アイ	人		83.0	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	旧白根町時代から特色あるスポーツの一環として全国交流大会へ参加してきており、その後も市の特色あるスポーツの位置づけとして実施している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	全体的な対象者(小学生)の減少により参加者も減少し大会規模も縮小傾向にある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	出場者からは全国の子どもと交流する貴重な機会になっていると感謝されている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過（取り組みしていない場合はその理由）	以前は補助金交付事業であったが、H22年度より大会への派遣事業として予算計上され「補助事業・参画事業」ではなくなった。H21年度以降付添職員の費用が計上されている。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	同上

事務事業名	全国スポ少ホッケー交流大会派遣・参画事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 スポーツ活動の推進
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 本市の特色あるスポーツとしての位置づけにある。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 全国レベルを体感し、交流を深めることが出来る。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 地域拡大には大会参加までのプロセスと、それに伴う指導者派遣等の費用が必要となる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 特色あるスポーツの振興に影響がある。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 最小経費としている。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 将来的にはNPO等に委ねられれば最良だが現状は市の特色あるスポーツとして関与している。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内の大会で優勝したチームが参加しているが、市内の大会は白根地区の小学生のみとなっている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	従来から取り組んでいる地域スポーツ運営の一環として現状のまま対応する。 しかし、他地域への拡大等を考慮すると12331と同じような総括内容になる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①他地域への拡大 ② ③		成果優先度評価結果	⑫																					
		コスト削減優先度評価結果	⑥																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																								
①社会的なホッケーのメジャー化 ② ③																								